伊豆青ヶ島島民にみられた肉の好き嫌いについて

坂 口 登

状 況

昭和29年11月、八丈島南方洋上の小孤島、青ヶ島を調査した一団（人類誌：64 巻 1,2号）に参加したわたくしは、調査をすすめてゆく途上、島民のかなり多くのものが、肉類を嫌い、また肉をたべるとジンマシン（らしいもの）や腹痛、下痢、嘔吐などをおこすことを知った。島から帰ったわたくしは、直ちに東京都下、小金井町で同様の調査を試みた。これらの結果は、その解明までにほどおいとしても、事実として興味ぶかく思われた。不慮の事故のためその資料を焼失し、発表をあきらめていたところ、最近になつてメモをとつてあつた紙がみつかったので、ここに簡単な報告をしておきたい。

約380名の島民のうち231名について、食べものの好き嫌い、及びその理由について質ねることができた。たとえば人参が嫌いであるとか、塩からが嫌いであるとか、どこにでもみられるようなものを除くと、肉類を好まぬ者が意外に多かつた。しかし魚が嫌いだと応える者は1人2人にとどまつた。（この島は古くから漁業が盛んで、魚はよく食べた。一方、肉食の習慣は新らしく、こんにちでもそれほど多くないようにみうけられる。）

青ヶ島で食べられている肉は、ふつう牛、豚、にわとりである。これらに牛乳を加えて、好き嫌いの状態をまとめると表の如くである。

にわとりの肉が嫌いだという者は、例外なく牛肉も豚肉も嫌いである。そしてその逆の例はみられない。また豚肉より牛肉を嫌うものが明らかに多い。（ジンマシンは一般にとり肉より、牛肉や豚肉によつてよくおこると云われている。）そして肉を好まぬ者の殆んどが、牛乳も好きでない。しかし牛乳でジンマシンになることは少ないようである。

肉を好まぬ理由とその考察

なぜ嫌いか、という質問にたいする応えは次の如くであつた。たゞし、小中学生についてはこれ

		成人		小中学生		合計	
		男	女	男	女	男	女
肉類ヲキラウモノ	牛、豚、鶏肉	0	11 ^a	1	1	1	12
	牛、豚肉	13 ^b	24 ^c	6	8	19	32
	牛肉ノミ	7 ^d	3 ^e	1	5	8	8
	豚肉ノミ	0	1 ^f	0	0	0	1
	小 計	20	39	8	14	28	53
余ナリスキデ	牛乳ノミ	2	5	5	7	7	12
	牛、豚肉 余リスカヌ	2 ^g	4 ^h	0	0	2	4
	小 計	4	9	5	7	9	16
肉キライデナイ		53 ⁱ	32 ^j	24	16	77	48
		77	80	37	37	114	117

を質せなかつた。表中の数字に付したアルファベット記号の順に記るしてゆく。（理由についての分類は、あくまでも便宜的なものであり、また調査の途中から設定された項目もある。）

- 11名中、ジンマシンになるから……………1名
体が変になる……………1名
信心と関係あると思われる者6名
（みこ……………5名）
20才頃から嫌になつた……………1名
とにかく嫌い……………2名
- 13名中、ジンマシン、腹痛……………8名
信心……………5名
（舎人……………3名）
- 24名中、ジンマシン、腹痛……………9名
信心……………7名
（みこ……………6名）
とにかく嫌い……………3名
不明……………5名
- 7名中、ジンマシン……………2名
（信心するもの……………1名）
くさいから（舎人）……………1名
牛を扱っているから……………1名

- 不明…………… 3 名
- e. 3 名中、ジンマシン…………… 1 名
とにかく嫌い…………… 1 名
- f. 1 名、 不明
- g. 2 名中、たくさん食べると腹痛…………… 1 名
とにかく嫌い…………… 3 名
- h. 4 名中、ジンマシン…………… 1 名
とにかく嫌い…………… 3 名
- i. 53 名中、時おりジンマシンや腹痛がおこる者、またかつてそうであつた者が相当数（7 名以上）ふくまれる。
53 名中、舍人 3 名。
- j. 32 名中、子供の頃は肉は嫌いであつた者 3 名がふくまれる。

以上で明らかなごとく、肉を食べてジンマシンらしい症状を呈する者や腹痛、下痢、嘔吐をおこす者が、成年男女の約 15% をしめて、異常に多い。これが何故であるか、結局つきとめることはできなかったが、考えられる原因を一応あげてみよう。ジンマシンができると云つた者のうちの 1 人は、かつて東京に行つた時、肉を食べたが別状なかつた、と述べている。そこでこの島の肉そのものを先づ調べてみる必要がある。島の肉は、屠殺して直ちに食用に供され、その処理過程もやゝ変つたところがある。しかし、われわれ調査団 20 余名は、たびたびこの肉を食べる機会をもつたが、20 日間の滞在中 1 人としてそのために変調をきたした者はなかつた。

次に島では主食として穀物のほかに、かなり多くのサツマイモを食べている。水は天水を利用し、塩分を多く含むものと考えられる。このような栄養が異常な体質をつくりあげることも考えられる。

ジンマシン、腹痛とは別に、信心をしている者の多くが、即ち舍人（男子）では 7 名中 4 名、み

こ（女子）では 11 名全部が肉を嫌い、しかもその程度がつよい。（島の宗教はいわゆる呪術に近い性質をもつものごとくみうけられた。）しかしこれは、信心をしているから肉を食べないというようなものではない。即ち戒律の如きものではない。信心を始める前から嫌いだつた人、信心をはじめる頃からなんとなく嫌いになつた人など様々で、特に前者が多いのである。ともかく、舍人やみこになるような気質と肉嫌いとは強い関係を持つと思われるが、これをそのまま青ケ島の肉嫌いの解明に結びつけることはできないであろう。

小金井町との比較

東京都下小金井町（現在は市）は、まだ農家が多く残り、一方では都会生活者の住宅地としても拓けつつあつた。青ケ島調査の直後、わたくしはこの町の中学生を通じて、町民約 250 名につき、青ケ島とほぼ同じ調査をアンケートにより試みた。ここでは肉を好まぬ者が、男子で 16% 以下、女子では 30% 以下である。青ケ島では小、中学生も含めて、男子 25%、女子 45% となる。両者の間にかなりの差があるが、ともに女子の方が明らかに多い。概して食物の好き嫌いは男子より女子に多く見られるものらしいが、上記の事実について筆者はむしろ、熱帯及び亜熱帯地方にしばしばみられる肉のタブーが、一般に女子に対してより厳しいことを連想するものである。

魚を嫌うものは、小金井町においても亦、獣肉に較べてはるかに少なかつた。

年令的にみると、小金井町では 20 才以下で高率を示し、特に女子ではそれが著しいが、青ケ島では逆に男女とも 20 才以上において著しい。

以上、再調査の機会を期待しつつ、いくつかの問題点を挙げたつもりである。

（日本大学医学部解剖学教室）

Distaste for and Abnormal Reactions to Meat on Aogashima Island

Noboru SAKAGUCHI

Of 231 inhabitants of Aogashima Island which is located to the south of Hachijojima Island, 25% of males and 45% of females have distaste for meat; in Koganeimachi of Tokyo where I investigated just after working at Aogashima, 16% of males and 30% of females have distaste for meat. The peoples of both places, however, do not dislike fish so much.

Thus in Aogashima, the tendency toward disliking meat is unusually strong. Furthermore there are many, 15% of the islanders, who suffer from urticaria, abdominal pains, diarrhoea and vomiting after eating meat. And four of seven *shajins* and all of eleven *mikos* have rather stronger distaste for meat. (*shajin* or *miko* means a man or a woman who is in ser-

vice of the ritual of a shrine. They seem to have peculiar mental characters in Aogashima.)

It may be safe to say that females have more distaste for meat than males. (This interests us when we can often see meat taboos especially for women of primitive societies in the tropical and subtropical zones.) The ratio of those females who do not like meat increases when they are above twenty years of age in Aogashima, whereas the ratio reverses in Koganeimachi.

*Department of Anatomy,
Faculty of Medicine,
Nihon University*